

古文ドリル：「参る」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「参る」の正体（3用法）

古文の「参る」は、**直前が体言か連用形か**、そして**飲食物が対象か**を見れば見分けられます。基本は謙譲語ですが、飲食の場面では尊敬語になる点に注意します。

用法	接続・条件	訳	例
① 本動詞・謙譲	体言+参る	参上する／差し上げる	内裏に 参る
② 補助動詞・謙譲	連用形+参る	～申し上げる	思ひ 参る
③ 本動詞・尊敬	飲食物+参る	召し上がる	御薬 参る

識別の鉄則

- 直前が動詞の連用形（思ひ・聞こえ など）→ 補助動詞・謙譲「～申し上げる」。
- 直前が体言で、目的地（内裏・御前 など）→ 本動詞・謙譲「参上する」。
- 直前が体言で、差し出す物（御文・花 など）→ 本動詞・謙譲「差し上げる」。
- 直前が飲食物（御薬・御粥・御酒 など）で、主語が貴人→ 本動詞・尊敬「召し上がる」。
- 「参る」は基本「謙譲」。飲食の尊敬だけ例外、と覚える。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① まず直前が連用形か体言か

- 連用形+参る（思ひ参る・聞こえ参る）→ 補助動詞「～申し上げる」。
- 体言+参る → 本動詞。次に「場所か・物か・飲食物か」で訳を決める。

コツ② 体言なら「場所・物・飲食物」で訳し分け

- 場所（内裏に・御前に）→ 「参上する」。
- 物（御文を・花を）→ 「差し上げる」。
- 飲食物（御薬・御粥）+ 貴人が主語 → 「召し上がる」（尊敬）。

コツ③ 「参る」は原則謙讓、飲食だけ尊敬

- 迷ったら謙讓（参上する／差し上げる／～申し上げる）。
- 「召し上がる」と訳すのは飲食の場面だけ。

よくある引っかけ

- 「参り給ふ」は謙讓「参る」＋尊敬「給ふ」の二重敬語。
- 「参らす」は別の一語（本動詞「差し上げる」／補助動詞「～申し上げる」）。
- 「飲む・食ふ」の尊敬「召し上がる」を謙讓と取り違えない。

採点表

各セクションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

本動詞（参上する／差し上げる）・補助動詞（～申し上げる）・尊敬（召し上がる）を見分ける。

Q1. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

内裏に参る。

Q2. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

思ひ参る。

Q3. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に参る。

Q4. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御葉参る。

Q5. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

聞こえ参る。

Q6. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御文を参る。

Q7. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

寺に参る。

Q8. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

申し参る。

Q9. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御粥（かゆ）参る。

Q10. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

宮に参る。

Q11. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

见参る。

Q12. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

花を参る。

Q13. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御酒（みき）参る。

Q14. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

都に参る。

Q15. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

仕うまつり参る。

Q16. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に御膳（おもの）参る。

Q17. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

神社に参る。

Q18. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

奉り参る。

Q19. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御琴（こと）を参る。

Q20. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

殿の御前に参る。

【第2部】 標準編 (Q21~Q50)

体言か連用形か、物か場所か飲食物かを確実に見分ける。

Q21. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

帝の御もとに参る。

Q22. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

慰め参る。

Q23. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御物（おもの）を**参る**。

Q24. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御簾（みす）のうちに**参る**。

Q25. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

数珠（ずず）を**参る**。

Q26. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

知り**参る**。

Q27. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

後の宮に**参る**。

Q28. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御湯（ゆ）**参る**。

Q29. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御文を書きて**参る**。

Q30. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

頼み参る。

Q31. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御所に参る。

Q32. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御くだもの（果物）参る。

Q33. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に文を参る。

Q34. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

馴れ参る。

Q35. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

春宮（とうぐう）に参る。

Q36. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御冠（かうぶり）を参る。

Q37. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

申し上げ**参る**。

Q38. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御堂（みだう）に**参る**。

Q39. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御箸（はし）とりて御物**参る**。

Q40. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前を立ちて宮に**参る**。

Q41. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御覧ぜさせ**参る**。

Q42. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

やがて内裏に**参る**。

Q43. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御衣（おんぞ）を**参る**。

Q44. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御湯漬（ゆづけ）参る。

Q45. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

守り参る。

Q46. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

院の御所に参る。

Q47. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御鏡（かがみ）を参る。

Q48. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御湯（ゆ）など参る。

Q49. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

いざなひ参る。

Q50. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

大宮に参る。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

「参らす」、二重敬語「参り給ふ」、紛らわしい文脈を見分ける。

Q51. 次の傍線部「参らす」を識別せよ。

御文を**参らす**。

Q52. 次の傍線部「参らす」を識別せよ。

思ひ**参らす**。

Q53. 次の傍線部「参り」を識別せよ。

内裏に**参り**給ふ。

Q54. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御几帳（きちやう）のもとに**参る**。

Q55. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御葉など**参る**べし。

Q56. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

ねんごろに頼み**参る**。

Q57. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。

御返り**参らせ**けり。

Q58. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

われも御供に**参る**。

Q59. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御文を見せ**参る**。

Q60. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御台（みだい）に物**参る**。

Q61. 次の傍線部「参り」を識別せよ。

急ぎ**参り**て、申す。

Q62. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に琴を**参る**。

Q63. 次の傍線部「参らする」を識別せよ。

申し**参らする**こと。

Q64. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御湯殿（ゆどの）に**参る**。

Q65. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御葉**参り**給ふ。

Q66. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

恋ひ**参る**。

Q67. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

後の御方に**参る**。

Q68. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。

御車に乗せ**参らせて**。

Q69. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前にうち**参る**。

Q70. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御飯（いひ）**参る**。

Q71. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

経（きやう）を読み**参る**。

Q72. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

寺々に**参る**。

Q73. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。

玉（たま）を**参らせ**けり。

Q74. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御簾巻き上げて**参る**。

Q75. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に御台**参る**。

Q76. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

慕ひ**参る**。

Q77. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前にやがて**参る**。

Q78. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御文を持って**参る**。

Q79. 次の傍線部「参らする」を識別せよ。

御琴を教へ**参らする**。

Q80. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御加持（かぢ）に**参る**。

【第4部】 入試レベル（Q81～Q100）

文脈・主語・対象を総合して、本動詞（参上／差し上げる）・補助動詞・尊敬を判別する。

Q81. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

后、御前にて御物**参る**。

Q82. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

中宮に御文を**参る**。

Q83. 次の傍線部「参り」を識別せよ。

大臣、内裏に**参り**給ふ。

Q84. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

あけくれ思ひ**参る**。

Q85. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御山（みやま）に**参る**。

Q86. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。

御消息（せうそこ）を**参らせ**たり。

Q87. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

いたはり**参る**。

Q88. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

上の御前に**参る**。

Q89. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御業を強ひて**参る**。

Q90. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御後（しり）に立ちて**参る**。

Q91. 次の傍線部「参らする」を識別せよ。

助け**参らする**。

Q92. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前に文を持ちて**参る**。

Q93. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

君に御衣を**参る**。

Q94. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御前にて御酒など**参る**ほどに。

Q95. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

心ざし深く仕へ**参る**。

Q96. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

法皇（ほふわう）の御所に**参る**。

Q97. 次の傍線部「参らせ」を識別せよ。

文をこそ**参らせ**め。

Q98. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

御湯（ゆ）を**参る**。

Q99. 次の傍線部「参る」を識別せよ。

守り**いつき参る**。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、「参る」の**直前の語と対象**をもう一度確認しましょう。

- **本動詞・謙讓**「**参上する**」…体言（**場所**）＋参る。「内裏に参る」。
- **本動詞・謙讓**「**差し上げる**」…体言（**差し出す物**）＋参る。「御文を参る」。
- **補助動詞・謙讓**「**～申し上げる**」…**連用形**＋参る。「思ひ参る」。
- **本動詞・尊敬**「**召し上がる**」…**飲食物**＋参る、主語が貴人。「御菓参る」。
- **関連語**「**参らす**」…本動詞「差し上げる」／補助動詞「～申し上げる」。

「参る」は原則謙讓、飲食の場面だけ尊敬。直前を見るだけで一瞬で見分けられます。敬語は主語判定に直結するので確実にしましょう。

この問題集は無料です。古文の他の敬語（給ふ・奉る・侍り候ふ）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太